

## 研究課題

「透析患者における DPP-4 阻害薬（リナグリプチン、テネリグリプチン）の有効性について」

### 1. 研究の意義と目的

数年前まで透析患者における使用可能な経口血糖降下薬は $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬の一部と速効型インスリン分泌促進薬に限られていたましたが、DPP-4 阻害薬が発売されたことにより治療薬の選択肢が広がりました。当院における DPP-4 阻害薬処方状況としては、透析患者様でも減量不要とされているリナグリプチンとテネリグリプチンが選択されています。両薬剤は発売されてからの長期服用による有効性・安全性の情報が乏しいことから、今回は当院での使用状況を調査し、透析患者様における有効性・安全性を調査することを目的としています。

### 2. 研究の方法

#### ① 対象期間

2014年4月1日～2017年1月31日における当院で透析中の患者様の中で、DPP-4 阻害薬が処方された方々。

#### ② 研究方法

1. グリコアルブミンや透析前血糖値の確認による血糖降下作用の有効性を調査します。
2. 低血糖の発現有無による安全性を調査します。

研究対象者となる方の診療録より抽出した情報を使用させていただきます。個人情報には削除した上で匿名化し、個人情報が漏出しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 3. 情報の保護・廃棄

本研究に使用する情報は東北医科薬科大学 若林病院薬剤部内で厳重に取り扱います。なお、調査結果は個人を特定できない形で論文等にて発表させていただきます。また、研究終了後は、診療録以外の情報は速やかにシュレッダーで裁断し廃棄します。

不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

本研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒984-8560

仙台市若林区大和町2-29-1

TEL: 022-236-5931

東北医科薬科大学 若林病院 薬剤部